

いばらき 市議会だより

2026年
(令和8年) 1月号
No.263

月号



安威川ダム湖越しに朝日を望む【撮影日 11月20日】

年頭のごあいさつ



市議会副議長
大村 卓司



市議会議員
福丸 孝之

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

昨年は、ダムパークいばきた内に日本一長い歩行者専用つり橋「ゴウダブリッジ」が開業し、豊かな自然を活かした地域活性化の拠点として注目を集めたほか、南目垣・東野々宮エリアの「イコクルいばらき」が本格稼働を開始するなど、本市の新たな魅力が創出された一年でした。

また、市議会におきましては、9人の議員に入れ替わる中、これまでの市議会の取組みや新たな課題を共有し、多様な意見を尊重しながら対話を重ねてまいりました。

今後も、市民に信頼される議会を目指し、その機能強化に努め、市政の発展に尽力してまいります。

本年が市民の皆さまにとって幸多き一年となりますことを心から祈念申しあげ、新年のごあいさつといたします。

民生常任委員会

委員長 青木 順子	副委員長 安孫子 浩子
大嶺 森本 浅野 優子	和田 麗子
さやか 美紀 理	塚 浩子



民生常任委員会では、本年度、神奈川県茅ヶ崎市の「終活支援」相談窓口や高齢者就労、移動に関する課題等について、海老名市の「ヤングケアラー支援」理解促進と周知啓発、相談体制等について行政視察を行いました。視察後、茅ヶ崎市が終活支援として実施するエンディングノートの活用について、当委員会でも議論を始めています。さらに、「ヤングケアラー支援について」勉強会を行いました。ご自身も元ヤングケアラーであつたヤングケアラー・コーディネーターを講師に迎え、周知・理解の必要性を、各委員で課題共有することことができました。

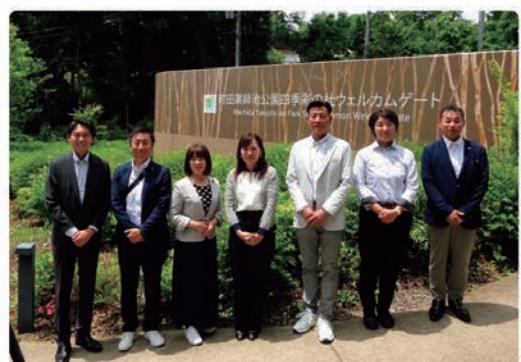
民生常任委員会では、福祉、医療、子育て施策などの議論を前に進め、引き続き住民福祉の向上を目指して活動してまいります。

本年度、建設常任委員会では、東京都町田市に伺い、「薬師池公園 四季彩の杜」を視察しました。茨木市の福祉文化会館跡地エリアにおける公園整備の在り方について、大変有意義な学びとなりました。また、神奈川県大和市では、市民サービスの向上及び地域の活性化を図るため、市内で運行している「コミュニティバス」を視察しました。茨木市の公共交通の持続性を向上させる取組みの参考にしてまいります。さらに、国土交通省 PPPアドバイザーを講師に招き、建設常任委員会主催の勉強会を開催し、パークPFI等手法について知見を広めることができました。

建設常任委員会では、引き続き茨木市のまちづくり、都市政策、産業振興、環境維持、上下水道関連、用地や農業支援など幅広い分野にわたり議論を進めてまいります。

建設常任委員会

委員長 円藤 こずえ	副委員長 永田 真樹
北原 川口 佐藤 米川	仁木 恵利 勝利
和芳 正樹	元気 こずえ



文教常任委員会

委員長 上田	副委員長 松本
片岡	西本
長谷川	西野
眞	浩
泰典	貴治
光夫	睦子
山下	慶喜



文教常任委員会では、任期中に「芸術政策を深めること」をテーマに活動しています。その一環として、小豆島町と瀬戸内国際芸術祭を視察しました。小豆島町では、芸術や文化を継続的に大切にするための「小豆島町芸術文化のまちづくり条例」について調査しました。また、瀬戸内国際芸術祭では、高齢者と来場者の交流など、数値化が難しい地域の効果について学びました。

さらに、文化庁の職員から国の文化政策の動向や自治体の文化振興の現状について聞き、芸術や文化の取組みが教育、観光、地域活性化など多様な分野と結びついていることを実感しました。これらの視察等を通じて、芸術政策の多角的な効果を、今後の文化政策に生かしてまいります。

総務常任委員会

委員長 下野	副委員長 岩本
栗尾	辰見
福丸	櫻井
大村	孝之
憲	直子
守	淳貴
巖	卓司



本年度、総務常任委員会では山梨県韮崎市と甲府市で行政視察を行いました。

韮崎市では、自治体におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の取組みについて、電子申請のボトルネックとなっている押印について見直しを図られ、新たに電子申請ツールを導入され、改善に取り組まれていきました。甲府市では、災害時における情報発信や避難経路等が表示される防災アプリを活用し、約9万5千世帯のうち、2万5千世帯がアプリをダウンロードしており、その普及に取り組んでおられました。

8月には、委員会研修として、本市の担当課から個人市民税、法人市民税、固定資産税について説明を受けました。次年度も引き続き、財政、消防、危機管理、選挙関係、監査など所管事務調査と積極的な意見具申に取り組んでまいります。

各会派・議員 新年のごあいさつ



自民・絆 会派

謹賀新年のご挨拶
2026

本年も、市民生活の向上に努めてまいります。

「次なる茨木」へ

ひとりも見捨てへん教育、こどもたちの居場所づくりと、文化施策にも取り組んでまいります。

西野 貴治

スポーツを通じて、市民の皆様が健康に過ごしていただけるよう、取り組んでまいります。

福丸 孝之

山間部の賑わいづくりと、高齢者にも優しいまちづくりに、引き続き尽力してまいります。

新春のご挨拶

明けましておめでとうございます

「かゆいところに手が届く存在に。」

政治って身近だな
声をあげれば変わるんだなと
実感していただけるよう
市民目線を大切にしながら
引き続き精進して参ります。

佐藤 恵

本年も市民の皆様とともに、次世代のための政治を行います。

片岡 真



憲法を守り、物価高から市民生活を支える市政に今年もみなさんとともに取り組んでまいります。

大嶺さやか

食べものに困ったり、不安や孤独を感じている方はいませんか。部屋は暖かいですか。表面ではみえにくい見過ごされがちな声にこそ、しっかりと耳を傾け、心穏やかな毎日になりますよう今年も全力を投じてまいります。主役であるあなたの毎日がきちんとありますように心から願っています。



新春のご挨拶
Wishing you
a Happy New Year.

茨木市議会公式インスタグラムアカウント

下記の二次元コードを読み取ると市議会インスタグラムを閲覧できます。



<https://www.instagram.com/ibarakishigikai/>



いのちと暮らし優先の年に
暮らしと
これからの茨木のために
力を尽くしてまいります。

山下けいき

あけましておめでとうございます
今年も市民のみなさまの
暮らしと
これからの茨木のために
力を尽くしてまいります。

米川勝利

無所属

あけましておめでとうございます。
本年も真摯にひたむきに、市民の皆様のお声を届けるべく市政に邁進いたします。

辰見直子



市議会のうごき

10月

6日
28日
～29日

議会広報委員会
北部地域整備対策特別委員会行政視察
(神奈川県愛甲郡清川村・愛川町)

11月

4日
28日

議会広報委員会
幹事長会・議会運営委員会